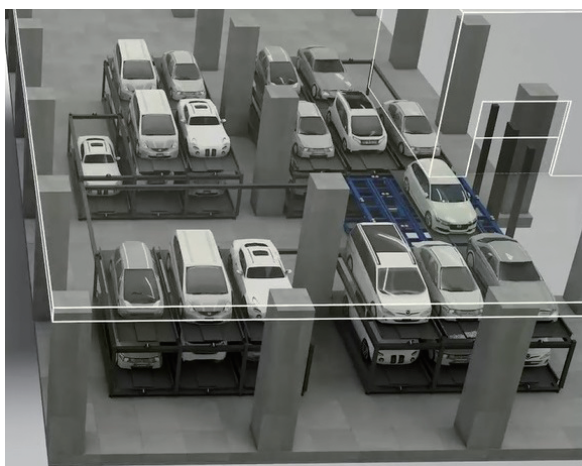


# バンコクに安全・安心な駐車場を

## 大都市バンコクの駐車場事情を変える IUK の機械式駐車場

東南アジア諸国のなかでも指折りの大都会に発展したタイの首都バンコク。ここに、日本のパーキング技術の粋を集めたタワー式駐車場を展開すべく、IHI 運搬機械株式会社は 2015 年に同国に進出した。現在、倉庫式駐車場を足掛かりに、安全・安心なタワー式駐車場を浸透させている。



倉庫式駐車場 (64 m<sup>2</sup>/CAR)



機械式駐車場 (49 m<sup>2</sup>/CAR)

### 慢性的な駐車場不足なバンコク

タイ・バンコクの人口は、外国人ほかを含め 1 000 万人を超え、東京都内にも匹敵する。1990 年代には次々と巨大ショッピングセンターが開設された。七つのフロアに 2 000 店もの小売店が並ぶマーブンクロンセンターを筆頭に、それぞれの店が観光客や地元の人々で常ににぎわっている。そして、これらのショッピングセンターを取り巻いているのが、いまやバンコク名物とさえいわれる自動車の渋滞である。

経済成長により中間富裕層が形成され、自家用車を所有することがある種のステータスである。バンコクの自動車保有台数は 564 万台を超えるとのデータもあり、人口の半数以上の自動車が存在する。

タイでは、劇場、ホテル、百貨店などの公共の建物

では、その席数、客室数、あるいは床面積などによって規定数の駐車場を確保しなければならない法令が定められている。しかし、駐車場設置義務が法令化される前に街が形成された地域も多く、都心部は慢性的に駐車場不足である。これが見る人を驚かせる駐車場の風景を生んだ。

例えば、ショッピングモールの駐車場では、車と車の間に隙間をほぼ取らずに車がずらりと並ぶ。出入りのための通路として、わずか 1 台分の車幅を残し、車で埋め尽くされている。こうした駐車方法が可能なのはバンコクが平坦な土地だからである。駐車するときにはサイドブレーキを引かないのがルールで、駐車場から出るには自分の車の周囲の車を押して、少しずつ動かしながら隙間をつくったうえで発進する。駐車場スタッフも周囲の人も慣れたもので、誰かが車を



バンコクの平面駐車場の様子

出そうとしていたら気軽に手伝う。

とはいえ、車を駐車場に入れるにも出すにも 10 ～ 15 分以上掛かるのは気軽とはいえない。駐車場待ちの車列はバンコク名物の渋滞にも加担しており、渋滞による経済損失は 1 000 億円相当という試算もある。

## タワー式駐車場のニーズ

一般に駐車場には、大きく分けて三つの種類がある。施設に隣接したオープンな土地を駐車場とする平面駐車場、複数階の駐車場のらせん通路を上り下りする自走式駐車場と、機械式駐車場である。

タイの現在の機械式駐車場のうち 8 ～ 9 割が倉庫式で、タワー式に至ってはほとんどない。

しかし、今後タワー式にニーズが集まる鍵となるのが、タイ政府が導入を目指している固定資産税である。タイにはこれまで、地価に連動して税金が掛かる固定資産税はなかったが、昨今の地価の上昇を受け、早ければ 2020 年 1 月にも施行される見通しである。

平面駐車場にしておくよりも、別の商業施設を造ったり、マンションの部屋数を増したりするなどの必要に迫られる。こうなれば機械式駐車場、なかでも小さな土地面積で効率よく台数を収納できるタワー式駐車場の優位性は明らかである。

## 現地市場に合わせたローカライズ

市場におけるタワー式の本格化を前に、いかに IHI ブランドを浸透させるか。そこで IHI 運搬機械株式

会社 (IUK) は、タイで市場の大部分を占める倉庫式駐車場に着目した。倉庫式駐車場は、自動車を前後方向に格納する方式の駐車装置で、日本では普及していないため IUK の製品ラインナップにはない。そこで、実績のある韓国メーカーの製品を取り扱うべく、図面や設計関連図書を取り寄せて精査するだけでなく、実地調査も実施し、機械の安全性能評価を徹底的に実施した。

さらに、安全に関して IUK 基準に満たないと判断された部分には、仕様を追加することにより対策を講じた。例えば、乗降領域における人感センサーや非常停止ボタン、運転手が庫外に出たことを検知するセンサーおよび回路などがそれに当たる。

「人の安全が第一」という思想に加え、据え付けから長期メンテナンスまでの一貫体制により実現する「故障なく長く使用できる IHI のものづくり精神」を丁寧に訴求することにより、安全装置の付加による価格上昇分を安全コストとして受け入れられる手応えも得た。

## 安全なタワー式駐車場

タワー式駐車場が、新築の高級コンドミニアムに採用された例もある。故障の少ない「日本製」駐車場があることが、コンドミニアム自体の価値を押し上げることにつながったのである。高品質で故障が少ないという日本製品への信頼はいまだに根強い。安全設計、安全思想を徹底する日本の機械式駐車場メーカーとしてのプレゼンスをタイ・バンコクで確立し、また、これまでタイの駐車場になかった安全・安心意識を定義し醸成していくことが我々のローカライズ活動と自負しつつ、日々努めている。

問い合わせ先

IHI 運搬機械 株式会社

パーキングシステム事業部

営業統括部 海外営業部

電話 (03) 5550 - 5256

<http://www.iuk.co.jp/>